

「SEND プログラム 2015年シドニー大学スプリングスクールプログラム 参加報告書」

京都大学工学部地球工学科4年 野田 貴頌

今回私は春休みの約二週間を用いて、オーストラリアのシドニー大学で、現地の言語である英語、文化を学びながら、日本語や日本文化を現地の学生に伝えてきました。まずこのプログラムでは、平日は基本的に午前3時間の授業を、午後から2～3時間の授業を受け、その後自由行動という形式でした。平日でも二日間は農場に行ったり、ビーチに行ったりと退屈せず非常に楽しく過ごすことができました。週末は自由なので様々な場所に観光に行きました。授業や観光には現地の学生も参加してくれ、楽しみながら交流することができました。また偶然にもシドニー大学に留学している日本人に会うことができ、留学生活についてたくさん聞く機会がありました。やはり日本の大学とはスタイルが大分違うみたいで、金曜日と土曜日以外は毎日宿題に追われていると言っていました。日本では宿題がたたくさんはできませんが、たくさんある自由時間をだらだら過ごすのではなく、将来を見据えてもう少し有意義に使っていききたいと思います。

二週間と非常に短い期間ではありますが、英語力は向上したと確信しています。というのも、英語の先生が非常に素晴らしい方だったことはもちろんですが、授業や現地の学生と話している時に、オーストラリアの独特の言い回しやイントネーション・アクセントをたくさん学べたからです。私個人としては研究室にアジア系の留学生がたくさんいるため、彼らの話す英語には慣れていたのですが、旅行中にオーストラリア人と会うと、うまくコミュニケーションがとれないことを悩んでいました。しかし今回の研修で、大分苦手意識が払拭できました。日本に帰ってからはオーストラリアのドラマをたくさん見て、もっと学びたいと思います。

日本語を勉強している現地学生の授業の受講では、現地の学生の日本語能力、文化に関する知識に驚かされました。オーストラリアから日本がどのようにみられているのかを知ることができ、非常に興味深かったです。日本文化に関するプレゼンではたくさんの学生が聞きに来てくれ、とても盛り上がりました。その後は一緒に観光にでかけ、日本・オーストラリアの文化の違いについてたくさん話し合いました。

最後に、ハイレベルで優秀な周りの学生に囲まれ、自分ももっと英語の勉強を頑張ろうと強く感じ、一度は長期留学してみたいという思いがより強くなりました。今回のプログラムに参加して本当に良かったと思います。またこのようなプログラムがあったら積極的に参加していきたいと思います。貴重な機会をつくっていただき本当にありがとうございました！ (1063文字)